

〔女子準決勝A〕

LEOVISTA
BASKETBALL
CLUB

(クラブ・ユース)

47

$$\left\{ \begin{array}{l} 12-8 \\ 12-17 \\ 6-14 \\ 17-9 \end{array} \right\} 48$$

FAB

(クラブ・ユース)

【評】

決勝進出をかけた戦い。お互いにオールコートマンツーマンでスタート。LEOVISTA#32藤井のレイアップ、#12澤口の1対1、#47鈴木の3Pなどで点数を重ねた。それに対して、FABは#26近藤のジャンプシュートや#18吉田のゴール下のシュートなどで対抗し1Qを12-8でLEOVISTAがリードし終了。

2Q、LEOVISTAは前からプレッシャーをかけターンオーバーを誘発し、#33宮原の3Pなどで先行しFABをリズムに乗らせない。しかし、試合が進むにつれてFABが積極的にドライブインを仕掛け小気味よく得点を重ねた。その後一進一退の攻防が続くが、終了間際にFAB#13池田の3Pが決まり逆転。前半を25-24でFABが1点リードして前半を折り返した。

後半、FABは堅い守りから相手のミスを誘発し、#18吉田のリバウンドからのゴール下や#13水島の3Pが効果的に決まった。LEOVISTAも#3高橋と#0佐々木の3Pで応戦するもFABが39-30で点差を離し、3Qを終了する。

4Q、追いつきたいLEOVISTAは積極的にプレッシャーをかけボールを奪いに行き、ターンオーバーを誘い、FABに得点を許さない。その後、LEOVISTAはドライブや速攻などで得点つなぎ、残り2分に#12澤口の3Pが決まり2点差とするが、すぐにFABも#13水島も3Pを決め返し譲らない。残り21秒でLEOVISTAの#32藤井が3Pを決め1点差とするが、最後はFABが逃げ切り48-47でFABが決勝進出を決めた。熱戦を制したFAB、最後まで粘り強く果敢に戦ったLEOVISTAの健闘を称えたい試合であった。

〔女子準決勝B〕

船橋市立七林中学校

(船橋)

63

$$\left\{ \begin{array}{l} 13-18 \\ 20-19 \\ 19-13 \\ 11-23 \end{array} \right\} 73$$

ブルーペブルズ

(クラブ・ユース)

【評】

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。七林#12雨池のドライブイン、ブルーペブルズ#11眞壁のジャンプシュートで得点する。ブルーペブルズは#1堀、#14佐野の力強いドライブインと#30渡邊のジャンプシュートで得点。七林は#11武田のゴール下シュート、ジャンプシュートと#10鷲尾の鋭いドライブインで反撃。両チーム堅いディフェンスで一進一退の攻防が続く。ブルーペブルズは#14佐野と#11眞壁の3Pシュート、#63大鰐のドライブインで点差を広げる。七林は#9戸田の3Pシュート、#12雨池の1Q終了間際の得点で食らいつく。

2Q開始早々に、七林は#11武田、#12雨池、#10鷲尾の得点で逆転する。ブルーペブルズも#63大鰐、#42ジェン、#99千葉の得点で再度リードを奪う。その後も逆転に次ぐ逆転となり、両チームとも熾烈なリバウンド争い、ルーズボール争いが続く攻防が繰り広げられる。前半はブルーペブルズが4点リードをして終了する。

後半は、七林が#11武田のポストアップを起点に#9戸田が3Pを決めるなど見事なチームプレイで得点を重ねる。ブルーペブルズも#30渡邊のポストアップや#11眞壁、#42ジェンのドライブインで得点を重ねる。両チームともボールマンにダブルチーム仕掛けるディフェンスに切り替え、速攻からの得点も生まれるスピード感ある攻防となる。七林は#17椎名と#9戸田の3Pシュート、#10鷲尾のジャンプシュートで逆転し、七林が2点リードで3Qは終了。

4Q開始直後、ブルーペブルズ#30渡邊のポストアップからバスケットカウントで逆転。七林は#12雨池の3Pシュートで同点に。息の詰まる攻防が続く。ブルーペブルズは#21ムンガタナのポストアップや#63大鰐、#99千葉の立て続けの得点で差を広げる。対する七林は#9戸田の連続3Pシュートで食らいつく。ブルーペブルズはオールコートプレス、ゴール下のボールマンにダブルチームを仕掛けるなどディフェンスから得点を重ねて畳みかける。七林は誰一人最後まで諦めず必死にプレイするが、ブルーペブルズの勢いを止められず10点差で決着。準決勝にふさわしい激闘を繰り広げた両チームに会場は大きな拍手に包まれた。

〔男子準決勝A〕

千葉ジェッツU15 (クラブ・ユース)	5 1	$\left\{ \begin{array}{l} 9-9 \\ 13-4 \\ 16-13 \\ 13-9 \end{array} \right\}$	3 5	松戸市立第四中学校 (松戸)
--------------------------	-----	--	-----	---------------------

【評】

準決勝、千葉ジェッツU15対松戸市立第四中学校。千葉ジェッツU15はオールコートマンツーマン、松戸市立第四中学校はハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がり、千葉ジェッツ#17菊池のゴールで得点が動き出す。対する松戸四も、#7藤田がフリースローを2本決め、一進一退の攻防が繰り広げられる。1Qは9-9で終了。

2Q、開始3分間で、千葉ジェッツ#15鈴木、#17菊池、#11榊原がゴールを決め、点差を徐々に広げる。松戸四も#6武田がフリースローを成功させ食らいつく。しかし、千葉ジェッツが#11榊原のオフェンスリバウンドからの得点や、#8篠崎のファーストブレイクなどで流れを引き寄せ、さらに点差を広げていく。前半は22-13と、千葉ジェッツの9点リードで折り返す。

3Qの開始直後、松戸四は#6武田のゴールや、#9長岡の3Pで4点差まで追いつける。後半に差し掛かり、千葉ジェッツ#24阿部が3Pを決める。さらに、相手のチームファウルが重なってきた状況を生かし、#48鈴木や#24阿部がバスケットカウントを決めていく。千葉ジェッツは#15鈴木がブザービーターで3Pを決め、38-26とさらにリードを広げて3Q終了。

4Qが始まり、千葉ジェッツはハードディフェンスで、相手の攻撃を封じにかかる。また、オフェンスでも#11榊原、#17菊池、#32増田の得点でリードを18点まで広げる。対する松戸四も、#8岩崎や#6武田のドライブからのゴールで点差を縮めていく。最後まで諦めず、アグレッシブにプレーを続けたが、51-35で試合終了。千葉ジェッツが決勝戦に駒を進めた。粘り強く戦った松戸四の健闘も称えたい試合であった。

〔男子準決勝B〕

HOOPS 4HOPE (クラブ・ユース)	4 6	$\left\{ \begin{array}{l} 14-12 \\ 17-12 \\ 3-6 \\ 12-8 \end{array} \right\}$	3 8	LEOVISTA BASKETBALL CLUB (クラブ・ユース)
----------------------------	-----	---	-----	---

【評】

男子準決勝、HOOPS 4HOPE対LEOVISTA。1Q立ち上がり、チームAはハーフコートマンツーマンでスタート。プレッシャーをかけ相手のミスを誘う。対するチームBは、オールコートマンツーマン。厳しいディフェンスから、速攻など速い展開をつくろうとする。互いにパスを回しながら相手とのずれをつくり攻める機会をつくった。その中で、LEOVISTA#16小沼の中での合わせで得点を重ねた。一方、HOOPS 4HOPE#31吉野、#33山下がオフェンスリバウンドからのセカンドシュートで得点し、試合を優位に進めた。

2Q立ち上がり、互いに激しいディフェンスでシュートまでいけず、2分間互いに得点がない中、HOOPS 4HOPE#31山本の1対1やポストプレイで攻める。一方、LEOVISTAは足を使った速い展開や#2宮田の3Pシュートで粘ったが、HOOPS 4HOPEがキックアウトからの外角のシュートで7点差に離し、前半を終えた。

3Q、LEOVISTAが前半に続き激しいディフェンスでターンオーバーを誘う。HOOPS 4HOPEはミドルシュートを狙うも中々入らず、得点が伸びない。一方、LEOVISTAは、粘り強いディフェンスからの速攻で差を縮めた。しかし、終盤にHOOPS 4HOPE#0井上の3Pが決まり、リードしたまま最終Qに入る。

4QもLEOVISTAは、粘り強いディフェンスで差を縮めていく。その中、LEOVISTA#18竹内のバスケットカウントや#2宮田の1対1からの周りの選手の合わせで得点を重ね、4Q残り4分で逆転に成功。しかし、HOOPS 4HOPE#33山下のポストプレイで再び逆転。リードを許さない。その後、HOOPS 4HOPEはミドルシュートが決まり始め、#31吉野の2連続3Pシュートが成功し、4Q残り1分50秒で、この試合最大得点差である11点差に広げた。4Q残り1分、LEOVISTA#27石津の3Pシュートで粘るが、8点差でHOOPS 4HOPEが勝利した。

終始、リバウンドの強さを見せたHOOPS 4HOPE、激しいディフェンスで粘り強さをLEOVISTAの両チームの健闘を称えたい試合であった。

〔女子決勝〕

$$\begin{array}{ccccc} \text{FAB} & & \left\{ \begin{array}{l} 1\ 3 - 1\ 4 \\ 1\ 4 - 1\ 5 \\ \\ 1\ 2 - 1\ 5 \\ 1 - 2\ 5 \end{array} \right\} & & \text{ブルーペブルズ} \\ (\text{クラブ・ユース}) & 4\ 0 & & 6\ 9 & (\text{クラブ・ユース}) \end{array}$$

【評】

女子決勝戦。FAB対ブルーペブルズ。お互いに気持ちの入ったハーフコートマンツースタートし、ブルーペブルズ#1堀がジャンプシュートで先制。FABは#13水島のドライブインからのシュートや3Pを中心に得点を重ねる一方、ブルーペブルズは#30渡邊のインサイドを起点に2Pシュートを重ね、1点差で終えた。

第2Q開始早々にFAB#81山田の3Pシュートで逆転する。ブルーペブルズは#42ジェンと#99千葉の素早いドライブインから得点を重ねていく。FAB#81山田とブルーペブルズ#30渡邊を中心に、どちらもリードを許さない攻防が続いた。FABは速いパス回しからの3Pを中心に、ブルーペブルズはドライブを中心とした、それぞれのスタイルが輝いた前半戦であったが、5点差でブルーペブルズがリードした。

第3Q、FAB#18古田、#26近藤のカットインを中心にゴール下でのシュートを積極的に狙う。お互いに2Pやフリースローによる得点が続く。ブルーペブルズ#42ジェンの多彩なシュートが光り、最後は#11眞壁の執念の2Pでリードを保ち、3Qが終了した。

第4Q、ブルーペブルズは#30渡邊と#99千葉の連続得点で9点差に広げ、FABがたまたまずタイムアウト。その後、FABがルーズボールにくらいつき、流れを掴もうと粘り強くプレーする。しかし、ブルーペブルズ#42ジェンと#14佐野のドライブから展開されるオフェンスがFABの追従を許さず、40対69でブルーペブルズが2年ぶり2回目の優勝を決めた。

優勝したブルーペブルズと最後まで粘り強く戦ったFABの健闘を称えたい決勝にふさわしい一戦であった。

〔男子決勝〕

$$\begin{array}{ccccc}
 \text{千葉ジェッツU15} & & 41 & \left\{ \begin{array}{c} 10-13 \\ 6-15 \end{array} \right\} & 50 & \text{HOOPS4HOPE} \\
 (\text{クラブ・ユース}) & & & \left\{ \begin{array}{c} 14-5 \\ 11-17 \end{array} \right\} & & (\text{クラブ・ユース})
 \end{array}$$

【評】

男子決勝戦。千葉ジェッツがオールコート、HOOPS 4 HOPEがハーフコートのマンツーマンでスタート。両チーム激しいディフェンスでタフショットを打たせる展開が続き、守り合いの展開となった。1Q終わりに、HOOPS 4 HOPE #31 吉野がバスケットカウントを決め、10-13で1Q終了。

2Q、HOOPS 4HOPEは開始早々に#9片田、#35平田の3Pが連続して決まり、流れを掴む。千葉ジェッツは相手の高さに苦しむが、#48鈴木のドライブインからのシュートで応戦する。HOOPS 4HOPEは要所で#22古手の3P、#33山下のリバウンドシュートが決まり、16-28で2Qが終了した。

後半に入り、スピーディーな展開から千葉ジェッツ#45中本のバスケットカウント、#3丸山、#24阿部の3Pが決まり5点差に迫る。対して、HOOPS4HOPEはファウルがかさみ、前半のようなリズムが掴めない。千葉ジェッツのペースのまま30-33で3Q終了。

4 Q、双方譲らず一進一退の攻防が続く。残り3分、H O O P S 4 H O P E # 0 井上の3 Pが決まり7点差となったところで千葉ジェッツのタイムアウト。その後もH O O P S 4 H O P Eの連続得点が決まる。千葉ジェッツは速い展開から得点していくが、H O O P S 4 H O P Eが逃げ切り9点差で決着。

両チームともに粘り強いディフェンス、決勝戦にふさわしい熱戦となった。健闘を称えたい。